

第7回

『夫婦の手紙』

全国コンクール



A black and white photograph of a group of people in school uniforms standing behind a podium outdoors under cherry blossom trees. A banner on the right reads "夫婦の手紙全国".

5月6日、染井吉野と南殿が夫婦で仲良く咲いた
夫婦桜の前で『第7回「夫婦の手紙」全国コンクール
公開発表会』が行われまし

最優秀賞など10作品を松前高校の伊藤優生くん（3

受賞者、受賞作品は次のとおりです。（敬称略。受賞作品は、最優秀賞と優秀賞のみを原文のまま掲載。）

年)、鍋谷双葉さん(3年)、秋本望さん(2年)が、それぞれの手紙に込められた作者の思いを、心を込め朗読しました。

感王寺	美智子（宮城県）
◇優秀賞	影山
◇佳作	寿美枝（神奈川県）
桂	（大阪府）
（岐阜県）	美絵
（札幌市）	原智夫
（愛知県）	矢知子
（神奈川県）	木
（神奈川県）	鈴木
（愛知県）	ゆきりん
（岐阜県）	義夫
（茨城県）	上原
（神奈川県）	益子
（神奈川県）	山本
（神奈川県）	山
（宮城県）	初
（宮城県）	桂
（宮城県）	桂
（宮城県）	桂

最優秀賞受賞作品

感王寺 美智子

人だ。僕は君といて、それを見たいのだ。」貴方は、そう言つてくれましたね。

の中で、生きていけるのか？

命の学び

の中、生きていいのか？

生きることを学んでいます。

広報まつまえ 平成26年6月号

4

優秀賞受賞作品

影山寿美枝

今ネ。お年を召したご夫

今ネ。お年を召したご夫婦が、寄り添いそつと手を貸し助け合う姿にでうと、心から羨ましく思います。長い間には色々あつたとし ても、乗り越え、歴史を重ねてきたお二人だと思えるからです。

三十七才の若さで、私と二人の娘を残して逝つてしまふ

まつた貴方。六十九才になつた今、つくづく、貴方に隣に居て欲しいと思うのです。三十年も前に去つた貴方は、年老いた私を判別できますか。天国で待つていてくださいますか。

まつた貴方。六十九才になつ
影 山 寿美枝

諍いさかいや浮氣などで心乱れ、
離婚の危機なんて長い年月
にはあつたかも知れません
ネ。

まつた貴方。六十九才になつた今、つくづく、貴方に隣に居て欲しいと思うのです。三十年も前に去つた貴方は、年老いた私を判別できますか。天国で待つていてください。さいますか。

初恋同志で、自分はさておき、お互に想いやつた族も交えて笑いながら。

でも、今、この年になり、己の限界を知り独りの無味さを感じます。私の手作りの料理で食卓を囲み、歩んだ道のりを“あなた”とゆつくり語りあいたいです。成人した二人の娘と増えた家族も交えて笑いながら。

初恋同志で、自分はさて
おき、お互に想いやつた
日々。生きていたら小さな

諍いや浮氣などで心乱れ、
離婚の危機なんて長い年月
にはあつたかも知れません
ね。

でも、今、この年になり、
己の限界を知り独りの無味
さを感じます。私の手作り
の料理で食卓を囲み、歩ん
だ道のりを“あなた”とゆつ
くり語りあいたいです。成
人した二人の娘と増えた家
族も交えて笑いながら。